

from the world

世界の国から

# ガーナ共和国

Republic of Ghana



アブドゥル・ムミン・ザカリア氏

ガーナ投資促進センター  
マーケティング部 投資促進官

Mr. Abdul-Mumin ZAKARIA  
Ghana Investment Promotion Centre - GIPC

首都 アクラ  
面積 約238,537平方キロメートル  
(日本の約3分の2)  
人口 約2,590万人(2013年 UNFPA)  
政体 共和制  
元首 ジョン・ドラマニ・マハマ大統領  
言語 英語(公用語)、各民族語  
通貨 ガーナセディ



## 農業・エネルギー分野に高いポテンシャル

### 安定した政治・経済

アフリカ西部に位置するガーナは、南は大西洋に面し、西はコートジボワール、東はトーゴ、北はブルキナファソの3カ国にそれぞれ隣接しています。西アフリカ地域における民主主義の牽引役として国際社会の高い評価を得ており、政治的・経済的安定性を背景に近年外国直接投資が増加しています。世界銀行の「ビジネスのしやすさランキング」では、サブサハラ地域上位5カ国に入っており、公用語として英語が通じるので、日本企業にとっても活動しやすい環境であると思います。

2010年に続き2度目となる今回の来日では、ガーナの最新ビジネス環境を日本のビジネス界に紹介すると共に、日本企業をガーナに誘致することを目的に活動を行いました。滞在中は約20社の日本企業と個別に面談しましたが、とても好意的に受け止めて頂いたと感じています。また、ビールや乳製品の工場を見学し、日本の製造現場で高度な技術が使われている様子に感銘を受けました。

### ガーナの産業

ガーナでは農業や農産品加工業に高いポテンシャルがあり、この分野への投資が増加しています。金融サービス、電気通信分野も急成長しており、新しいサービスの提供が活発になってきています。このほか、製造業、ICT、観光、再生可能エネルギーの分野にも投資機会がありますが、政府がとりわけ誘致に力を入れているのは、農産品加工業や製造業です。

ガーナでは既にいくつかの日本企業が活躍していますが、彼らの現地での評判はとても良く、日本企業と一緒にビジネスを行いたいと考えているガーナ企業が数多く存在します。現在は、カカオなどの原材料を輸出して、日本国内で製品化するというビジネス形態が一般的ですが、今後は加工プロセスの一部をガーナ国内で行う形態に転換していきたいと考えています。

現在ガーナでは、ショッピングモールの建設が進み、新しい商品がどんどん入ってくるなど、日常生活においても経済成長の恩恵を感じる場面が多くあります。ですから、この機会を逃さず、ぜひ多くの日本企業にガーナに来て頂きたいと思います。日本企業と組むことで、ガーナの労働者のスキルも向上すると思います。



アクラのショッピングモール  
(写真提供: ガーナ編 ~人生遊牧中~)

### 今後の民間連携に期待

最近の動きとして、国際協力機構(JICA)が私の所属するガーナ投資促進センターを支援するプログラムを実施したり、日本の農林水産省がガーナに専門家を派遣するなどの交流も活発化してきており、両国の政府間関係は今後ますます強固なものになっていくと確信しています。

一方、民間同士の関係はまだこれからという段階ですので、今後は民間ベースでの経済連携が進展することを期待しています。今回お会いした日本企業から、詳しい現地の状況を知りたいという要望などがあがっていますので、帰国後はそれらをフォローアップし、サポートしていく予定です。



マコラマーケット(写真提供: ガーナ編 ~人生遊牧中~)